

1名の方から献眼をいただきました

★去る7月2日高岡市の80代男性より献眼いただきました。献眼登録をされており、ご本人の強い意志をご家族が尊重されて提供されました。森田2R四献・環境保全委員よりガバナー感謝状の伝達が行われ、井村理事が弔辞を奉読いたしました。

心より感謝いたします ありがとうございます

◆第61回広域活動地区別連絡会議
◆第41回全国アイバンク連絡協議会に出席

7月27日(金)に東京国際フォーラムにおいて、東海北陸地区中核アイバンク主催の広域活動地域別連絡会と、日本アイバンク協会主催の全国アイバンク連絡協議会が行われ、大黒理事長、入江コーディネーターが出席しました。各地域での業務上の問題点や、改善点などについて活発に意見交換が行われました。なかでも、今後の活動展開の向上を図るため、業務上の全国統一基準を推進するための意見が挙げられ、協会の求心力と行動力を期待する声が寄せられていました。



◆アイバンク啓発活動にご協力いただきました

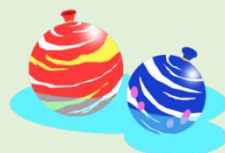
*氷見LC

7/29(日) ハッピータウン氷見ショッピングセンター
献眼啓発チラシ&風船配布



募集中

アイバンクでは、献眼啓発活動を実施させていただけるイベントを募集しています。啓発チラシの配布のほか、小さなお子様向けに風船(水風船)や、大人の方向けに啓発グッズを準備してお伺いいたします。また、献眼に関する講演活動では献眼啓発DVDの上映も行っています。ぜひ、お気軽にご相談ください。



◆臓器組織の移植に関する委員会主催の講演会に参加◆

7月5日(木)、市立砺波総合病院講堂にて砺波総合病院臓器組織の移植に関する委員会主催の講演会が行われ、事務局から石附・山川が参加しました。講師の、富山大学 医療安全管理室 特命教授 長島 久先生が、「救急・集中治療領域の患者・家族の意思決定支援」—臓器提供は救急医療の敗北宣言なのか—と題して講演され、「提供を受ける患者のための臓器提供から、提供者とその家族のための臓器提供へと変わりつつある。」と話された。私たちアイバンクも、献眼に携わる際には提供者の価値観や希望を聞き、提供者とご家族の意思尊重のためにも、相手の立場に立って話すことを心掛けて、気持ちに寄り添えるように努めたいと思いました。



EYEBANK INFORMATION

～お知らせ～

例年11月に開催されていましたが、「いきいき富山健康と長寿の祭典」が、今年度はパワーアップして、11月3日(土)～6日(火)に「第31回全国健康福祉祭とやま大会ねんりんピック富山2018」として県内各地で交流大会や関連イベントが開催されます。アイバンクは、富山市総合体育館第1アリーナ健康フェア会場にて献眼啓発活動を行います。皆様のご来場をお待ちしています。詳しくはHPをご覧ください。 <http://nenrin-toyama2018.jp/>



大会マスコット きときと君

第31回全国健康福祉祭とやま大会
**ねんりんピック
富山2018**

夢つなぐ 長寿のかがやき 富山から
平成30年11月3日(土)～6日(火)

寄附金・賛助会員・募金に関するご報告
(7/1～7/31まで) 敬称略

《寄附金》

立浪眼科医院	20,000円
片山眼科医院	5,000円
屋根 慎二	3,000円

《募金》

立浪眼科医院	4,116円
--------	--------

《7月の事業実績の概要》

・献眼登録者数	4名
年度累計	13名
・献眼者数	1名
年度累計	7名
・奉仕銀行助成金	0円
年度累計	1,250,000円
・寄附金収入	28,000円
年度累計	604,081円
・賛助会費収入	0円
年度累計	668,000円
・募金収入	4,116円
年度累計	70,556円
[寄附金等収入合計]	2,592,637円

